



メールマガジン：自然をおそれず、あなどらず



発行：県教育庁保健体育課・沖縄气象台

危険なニンガチ・カジマーイ 天気や風の急変に注意！

～海に出かけるときは、しっかりと天気予報を確認しよう～

沖縄には、冬から春に移行する旧暦の2月頃(新暦の3月頃)、「ニンガチ・カジマーイ(二月・風廻り)」と呼ばれる海の荒れる日があります。この時期には西高東低の冬型の気圧配置が緩み、台湾付近に低気圧が発生して沖縄地方を通過します。この低気圧は発生後に急激に発達し、また移動速度が速いことから、天気の変化が早く急に強い風が吹き、大荒れの天気となるという特徴があります。風の廻り(変化)が早いことから、「ニンガチ・カジマーイ」と称されて、漁業関係者などからは台風に次ぐ荒れ日として恐れられています。

「ニンガチ・カジマーイ」の起こりは古く、15世紀に久米島の「堂の比屋」という人が、自身の体験をもとに執筆した「お日より拝み日記」から広まったものと伝えられています。

沖縄では過去に、その日の朝までは風が弱く穏やかだったため、天気の急変があることを知らずに「まだ大丈夫だろう」と判断して、潮干狩りやシュノーケリング、シーカヤックなどの海のリジャーに出かけての事故が多く発生しています。この時期に海に出かけるときには、「天気が急変するかもしれない」「急に風が強くなるかもしれない」「急に波が高くなるかもしれない」ということを常に頭の片隅に置いて、气象台のホームページ等でしっかりと天気予報を確認してください。

沖縄气象台では、「ニンガチ・カジマーイ」を理解していただくために放送局の防災番組や出前講座などで、替え歌を用いてその怖さを紹介しています。各学校におきましても、古来より伝わる沖縄の気象現象について知っていただき、児童生徒の防災教育に活用していただければと思います。



FMぎのわん「ライフサポートラジオ」収録の様子

にんがち・かじまーい ゆんた (あさどや ゆんた替え歌)

- 1 サ～ 旧暦 にんぐち うみでは 気をつけて サ～ユイユイ
南の風から 北風に 変わります マタハーリヌ ニンガチ・カジマ～イ
- 2 サ～ か～ぜと な～みが 急～に 強まるよ サ～ユイユイ
海でのリジャーは 油断は 禁物よ マタハーリヌ ニンガチ・カジマ～イ
- 3 サ～ う～れし たのしい 浜うり うみあしびー サ～ユイユイ
て～んき予報を 見てから 遊んでね マタハーリヌ ニンガチ・カジマ～イ

那覇市立真和志小学校で防災教室を実施！

～発達の段階に応じた「生きる力」を育む防災教育の展開～

近年、急激に変化する社会環境や自然環境により、学校を取り巻く環境も変化してきています。「生きる力」を育むという学校教育の目標を着実に実現する上では、学校安全のより一層の充実・推進を図ることが不可欠です。

小学校段階における防災教育の目標としては、「日常生活の様々な場面で発生する災害の危険を理解し、安全な行動ができるようにするとともに、他の人々の安全にも気配りができる児童」を育成する必要があるため、防災教育の展開として以下の具体的な目標が示されています。

ア 知識、思考・判断

- ・地域で起こりやすい災害や地域における過去の災害について理解し、安全な行動をとるための判断に生かすことができる。
- ・被害を軽減したり、災害後に役立つものについて理解する。

イ 危険予測・主体的な行動

- ・災害時における危険を認識し日常的な訓練等を生かして、自らの安全を確保することができる。

ウ 社会貢献、支援者の基盤

- ・自他の生命を尊重し、災害時及び発生後に、他の人や集団、地域の安全に役立つことができる。

那覇市立真和志小学校では、日本気象予報士会沖縄支部のご協力をいただき、令和2年12月14日に小学校5年生（80名）を対象とした防災教室を実施しました。講師は、沖縄気象台OBで気象予報士・防災士・気象防災アドバイザーの資格を持つ島尻勝氏とNHK沖縄放送局のお天気キャスター結野亜希氏が務め、沖縄に毎年接近する台風のことや大雨・雷、地震や津波から命を守る行動に関して、丁寧に分かりやすくお話していただきました。

緊張気味だった子供たちも、テレビやラジオでお馴染みのお二人の動画やアニメを活用した説明に目を輝かせながら聞き入っていました。

○島尻勝講師の感想

2時間の授業で内容が多岐にわたっており、児童の皆さんが集中力を切らさずに理解してくれるか不安でしたが、真和志小学校の生徒は明るく、よく質問してくれました。少しでも防災教育のお手伝いできたかなと喜んでいきます。

○結野亜希講師の感想

今回は主に補助的な役割をしましたが、生徒から突然の質問をもらい楽しく勉強することができました。真和志っ子たちの中から一人でも、気象台や放送局の仕事に興味をもって将来一緒に仕事ができればと思います。

○担当教諭の感想

今回は、子供たちに天気や地震の事を教えてくださいまして、ありがとうございました。専門家のお話を直に聞き、子供たちが日頃から疑問に思っていることに対して答える形で講義が進んだことから、とてもわかりやすく、内容をよく理解できたようです。来年も実施したいと思いますので、よろしく願いいたします。

沖縄気象台では、日本気象予報士会沖縄支部と連携して、安全教育の普及・啓発活動を行っています。派遣に係る費用は不要です。県内の各学校でご要望があれば、沖縄気象台業務課（098-833-4283）まで問い合わせ願います。



メールマガジンで取り上げてほしいテーマや、各学校で行った防災に関する取組などがありましたら、次の連絡先までご連絡をお願いします。

沖縄県教育庁保健体育課

学校安全・給食班

沖縄気象台防災調査課 山口 直輝

TEL : 098-866-2726

Email : aa316008@pref.okinawa.lg.jp

TEL : 098-833-2186

Email : yamaguchi@met.kishou.go.jp

